

医療統計の概況

1 医療施設

医療施設についての調査には次の2種類があり、以下の数値はこれらの調査によるものである。

(1) 医療施設調査

病院、一般診療所及び歯科診療所を対象としており、3年に1回実施される「静態調査」と毎年実施される「動態調査」がある。前者により医療機関の総合的把握を、後者により新規開設、廃止等の動向の把握を行っている。

(2) 病院報告

病院を対象とし、患者の状況、従事者数についての把握を行っている（病院報告の統計については別掲した。）。

表1 医療施設数（令和2年10月1日現在）

	施設数		人口10万対施設数	
	京都市	全国	京都市	全国
病院	96	8,238	6.6	6.5
精神病院	6	1,059	0.4	0.8
一般病院	90	7,179	6.1	5.7
一般診療所	1,594	102,612	108.9	81.3
有床	42	6,303	2.9	5.0
無床	1,552	96,309	106.0	76.3
歯科診療所	811	67,874	55.4	53.8

※四捨五入をしているため、内訳の合計が「総数」に合っていない。

表2 施設の種別別病床数（令和2年10月1日現在）

	病床数（構成割合）		人口10万対病床数	
	京都市	全国	京都市	全国
病院	20,408 (100.0%)	1,507,526 (100.0%)	1,394.3	1,195.1
精神病床	3,609 (17.7%)	324,481 (21.5%)	246.6	257.2
感染病床	8 (0.0%)	1,904 (0.1%)	0.5	1.5
結核病床	117 (0.6%)	4,107 (0.3%)	8.0	3.3
一般病床	14,438 (70.7%)	887,920 (58.9%)	986.4	703.9
療養病床	2,236 (11.0%)	289,114 (19.2%)	152.8	229.2
一般診療所	331	86,046	22.6	68.2
歯科診療所	1	61	0	0

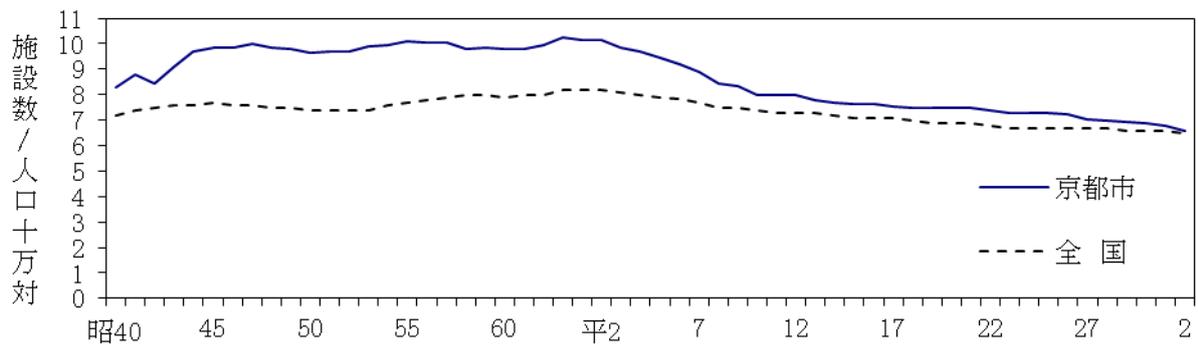
(1) 施設数

令和2年10月1日現在の京都市内の病院数は96施設で、前年から3施設減少した。人口10万対数は6.6で、前年から0.2減少となった。病院数の年次推移をみてみると、昭和63年の151をピークに減少傾向にある（図1）。

令和2年10月1日現在の京都市内の一般診療所数は1,594施設で、前年から8施設増加した。また、歯科診療所数は811施設で、8施設減少した。

（図2，図3）

図1 病院数の年次推移



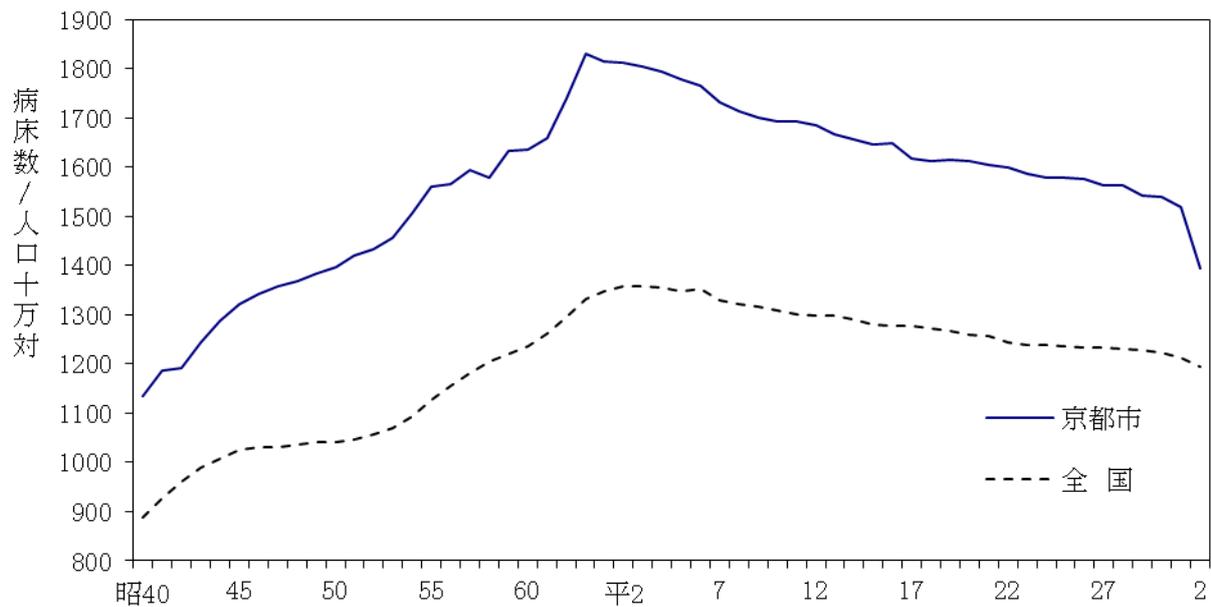
(2) 病床数

令和2年10月1日現在の京都市内の全病床数は20,740床で、前年より1,884床減少した。

病院の病床数は20,408床、人口10万対数では1,394.3床で、前年より病床数で1,845床減少し、人口10万対数で123.6床減少した（図4）。

一般診療所の病床数は331床で、前年から39床減少し、人口10万対数は22.6で、前年から2.6床減少した。

図4 病院病床数の年次推移



2 医師・歯科医師・薬剤師数

医師，歯科医師，薬剤師の分布及び就業の実態を把握する調査として，2年に1回，医師・歯科医師・薬剤師調査が実施されている。以下の資料はこの調査によるものであり，数値は従業地により区分したものである。

表4 医師・歯科医師・薬剤師数（令和2年12月31日現在）

	実数		人口10万対	
	京都市	全国	京都市	全国
医師	6,880	339,623	470.0	269.2
医療施設の従事者（再掲）	(6,379)	(323,700)	(435.8)	(256.6)
歯科医師	1,271	107,443	86.8	85.2
医療施設の従事者（再掲）	(1,245)	(104,118)	(85.1)	(82.5)
薬剤師	4,664	321,982	318.6	255.2
薬局・医療施設の従事者（再掲）	(3,239)	(188,982)	(221.3)	(198.6)

(1) 医師数

令和2年12月31日現在で届出のあった京都市内の医師数は6,880人で，前回の平成30年調査時より200人増加した。人口10万対数でみると，京都市は全国を大幅に上回っており，年次推移では増加傾向にある（図5）。

業務の種類別では，病院（医育機関附属病院を含む）の勤務者が37.3%，医育機関の勤務者が28.5%等となっている（表5-1）。

(2) 歯科医師数

令和2年12月31日現在で届出のあった京都市内の歯科医師数は1,271人で，前回の平成30年調査時より39人増加した。人口10万対数でみると京都市は全国を上回っており，年次推移では増加傾向にある（図6）。

業務の種類別では，診療所の開設者又は法人の代表者が55.9%，診療所勤務者が32.9%等となっている（表5-2）。

(3) 薬剤師

令和2年12月31日現在で届出のあった京都市内の薬剤師数は4,664人で，前回の平成30年調査時より215人増加した。

業務の種類別では，薬局の勤務者が44.3%，病院又は診療所において調剤・検査等に従事する者が20.5%，医薬品の製造業の従事者が11.6%等となっている（表5-3）。

表5 業務の種類別, 医師・歯科医師・薬剤師

5-1 医師			5-2 歯科医師		
業務の種類	実数	構成割合(%)	業務の種類	実数	構成割合(%)
総数	6,880	100.0	総数	1,271	100.0
医療施設の従事者	6,379	92.7	医療施設の従事者	1,245	98.0
病院の開設者又は法人の代表者	50	0.7	病院の開設者又は法人の代表者	-	-
診療所の開設者又は法人の代表者	1,204	17.5	診療所の開設者又は法人の代表者	710	55.9
病院(医育機関附属を除く)の勤務者	2,564	37.3	病院(医育機関附属を除く)の勤務者	56	4.4
診療所の勤務者	599	8.7	診療所の勤務者	418	32.9
医育機関の勤務者	1,962	28.5	医育機関の勤務者	61	4.8
介護老人保健施設の従事者	62	0.9	介護老人保健施設の従事者	-	-
介護医療院の従事者	30	0.4	介護医療院の従事者	1	0.1
医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者	376	5.5	医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者	17	1.3
臨床系以外の大学院生	100	1.5	臨床系以外の大学院生	6	0.5
臨床以外の勤務者, 教育研究勤務者	192	2.8	臨床以外の勤務者, 教育研究勤務者	8	0.6
衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者	84	1.2	衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者	3	0.2
その他の者	33	0.5	その他の者	8	0.6
その他の業務の従事者	7	0.1	その他の業務の従事者	3	0.2
無職の者	26	0.4	無職の者	5	0.4

5-3 薬剤師		
業務の種類	実数	構成割合(%)
総数	4,664	100.0
薬局・医療施設の従事者	3,239	69.4
薬局の開設者又は法人の代表者	147	3.2
薬局の勤務者	2,065	44.3
病院・診療所 調剤	954	20.5
病院・診療所 その他	73	1.6
介護老人保健施設の従事者	23	0.5
介護医療院の従事者	9	0.2
薬局・医療施設以外の従事者	1,114	23.9
大学 勤務者(教育・研究)	161	3.5
大学 大学院生又は研究生	75	1.6
医薬品関係企業 医薬品製造業	543	11.6
医薬品関係企業 医薬品販売業	103	2.2
衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者	232	5.0
その他の者	279	6.0
その他の業務の従事者	88	2.0
無職の者	191	4.1

※構成割合については、四捨五入をしているため、内訳の合計が「総数」に合っていない。

図5 医師数の年次推移

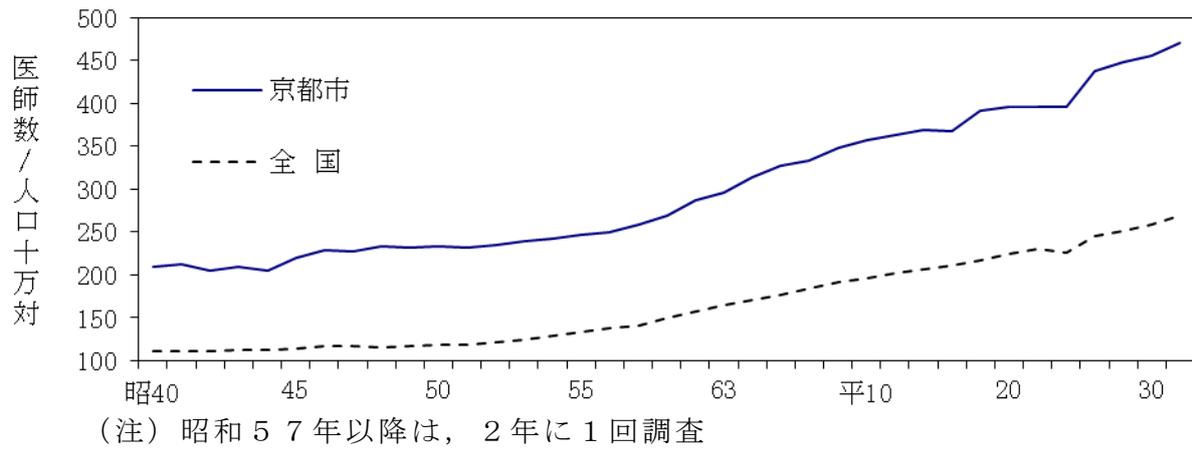


図6 歯科医師数の年次推移

